

平成29年度 第4回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:平成 30 年 2 月 27 日(火)

10 時 00 分～11 時 30 分

場所:摂津市民図書館 3 階 大会議室

出席委員: 9 名

欠席委員: 1 名

事務局: 3 名

案件: 1. 平成 29 年度第 3 四半期モニタリング評価結果について

2. 平成 30 年度 摂津市民図書館・鳥飼図書センター事業計画(案)報告

3. その他

1. モニタリング評価結果報告(平成 29 年度第 3 四半期)について

(事務局) モニタリング評価結果(平成 29 年度第 3 四半期)について説明。

(事務局) ○「この度は、10・11・12 月期の報告でした。10 月期のみ単発の自主事業がないのには理由があるのでしょうか。」という内容について

⇒10 月は蔵書点検があり、また蔵書点検後の利用者の増加のため、イベントの実施ができていない状況であった。今後は需要を見て検討していきたい。

○「12 月のサトシンさんの講演会では大変お世話になり、有難うございました。

図書館職員さんとの初めての共催事業は大変勉強になりました。

今後も機会がありましたら、またご一緒させて頂けたらと思いましたが、と共に、図書館が他の団体と事業されることで、利用者の拡大と来館のきっかけにもつながるのではと改めて感じました。

(ぽてとスタッフの感想は、協議委員の方、役所の方、職員の方にご覧頂ける機会がございますか?)」という内容について

⇒共催することで、図書館だけでは実施できないイベントを実施できた。また、今まで気付くことができなかつた点に気づき、広報の方法などの勉強をさせていただいた。今後も共催させていただくことで、今まで呼ぶことができなかつた利用者層に働きかけていきたい。

ぽてとスタッフさんの感想については改めて、役所へ提出し協議委員の方へもお配りする。

○「摂津市民図書館の方は、利用しやすいように館内の備品の配置

換えや書架の整理がされていることが、来館する度に感じられます。」という内容について

⇒書架見出しの文字を大きくしてルビをふる、絵本コーナーの色分けをするなど、見やすくする作業をこの1年で行ってきた。引き続き書架の整理や配置につとめる。

○「鳥飼図書センター1階入り口辺りの児童向けのコーナーがいつも楽しく工夫されています。

作り手が楽しんで制作されていることが想像できます。」という内容について

⇒入口入ってすぐのスペースということもあり、来館された方が楽しい気分になっていただけるように工夫している。今後も取り組みを続ける。

○「図書館のHP、スマートフォンより蔵書検索した禁帯図書が、記載されていた鳥飼図書センターに無く、窓口で聞いたところ、安威川の摂津市民図書館にあると案内された。(日本国語大辞典)

それより1ヶ月以上経過したが、情報の訂正がなされていない様です。」という内容について

⇒ご不便をおかけして申し訳なかった。スタッフは新しい版の資料を案内したとのこと。検索画面の表示が見にくいという問題点もあるが、窓口スタッフの対応にも不備があった。利用者の立場に立った案内ができるよう徹底する。

○「出張おはなし会、手話のおはなし会、特別おはなし玉手箱の後に、スタッフの方が用意してくれたかわいいプレゼント、いつも有難うございます。私たち大人も楽しみにしています。」という内容について

⇒引き続き取り組んでいきたい。

○「最近の市議会、常任議会等で、図書館行政についての質疑がありましたか？」という内容について

⇒公民館における図書購入費について問われた点はあったが、直接図書館についての質疑は無かった。平成30年度も現状維持で図書購入に関する要求を行っており、今後も図書館行政を大切にしていきたい。

(事務局)

○「日曜映画会で、とりわけ子ども用の会の参加者が少ないことは、担当者にとって残念なことでしょう。一つの傾向として、同行する母親が興味を持ったであろう映画に、やや参加者が多く見られるように感じました。(ex. ファーブル昆虫記、ミッフィーもの)

成人用では、ノーベル賞受賞作家作品等、時の話題作に関心が持たれたように思います。」という内容について

⇒季節に関するものや話題となったもの、図書館の蔵書に原作本があるようなものを選定しているが、年齢層によって興味の幅が広く選定が難しい。今後も気を付けて選定に工夫を重ねていきたい。

○「11/13の鳥飼図書センターでの件では、職員の安全対策の検討と共に、閉館時間の周知として、例えば『〇〇時現在 あと1時間(or 30分)で閉館します』との予告表示を玄関ないしはカウンター上に掲示しておくのも、一方法かと思えます。」

「鳥飼図書センターで閉館時間が近づいているのに激高された方への対処は、それでよかったのか。」という内容について

⇒現在、鳥飼図書センターでは閉館20分前に音楽を流し、市民図書館では15分前に一度放送を行った後、閉館5分前から再度音楽を流して閉館を知らせる形をとっている。また同時に見回りスタッフによる声掛けを行い、閉館の案内を行っている。窓口に関しては閉館時間間際に来館された方であっても臨機応変に対応するようにしている。今回の方は来館された目的が不明であり、対応が難しかった。どのような対応が利用者の方に伝わりやすく、トラブルを防ぐことができるのか検討していきたい。

○「先日、鳥飼図書センターで、初めて、入口の受付前に、ピンク地の可愛い図書カートを見つけ、お借りして使ってみましたら、とても便利で、本の重さを気にせず、ゆっくり館内を歩く事ができました。静かな中で少し音を立てるのが気になりましたが、なるべく音を立てないように使わせていただこうと思いました。ありがとうございました。」という内容について

⇒市民図書館、鳥飼図書センターに各1台ずつ設置しているが、まだ利用者はそれほど多くない。周知に力を入れ、多くの方に利用していただけるようにしたい。需要があれば台数の増加も検討したい。

○「大きな活字の本はどこにあるのか。わかりやすい所に置いてほしい。」という内容について

⇒一番奥の壁際の書架にあり、書架表示をつけることができず、わかりにくい場所であった。入口からも見えやすいように壁に表示するなどして改善する。タイトル数も多数所蔵しているの
で、今後高齢者サービスの一つとして、より購入を進めていきたい。

○「出張おはなし会が好評で、回数を増やしてほしいという意見は取り入れられないのだろうか。」という内容について

⇒ご要望をいただけるほどに出張おはなし会が浸透してきたということに感謝している。回数の増加については、現在のスタッフの状況や他のイベントの状況などの関係で難しい状況ではあるが、6月のスペシャル版の開催や、公民館との連携、他市との連携などの活動を通して、図書館外でのイベント実施は、今後も引き続き積極的に取り組んでいきたい。

○「『出張おはなし会』を各小学校でできないでしょうか。」という内容について

⇒図書館としても学校との連携は是非進めていきたい。出前講座のような形で、出張図書館案内や、低学年に向けたおはなし会などを実施したこともある。お申し出いただければ、今後もぜひ実施の機会を設けたい。また、小学校だけでなく、保護者に向けた絵本の選び方講座や読み聞かせなど、施設、園などにも出向いて活動していきたい。

(委員) コミュニティプラザに図書の検索システムを置き、予約ができるようにしてもらうことはできないのか。来館が困難な人に対するサービスとして報道に取り上げてもらうなどすれば、摂津市の目玉になると思うのだが。

(事務局) システムを置くということについてはすぐに実施するのは難しい。今後の検討事案とさせていただきたい。代替案として、予約本の受取りや返却のサービスは継続して行っているの
で、インターネットでの検索や、図書館で配布している新刊全点案内にてご希望の本を電話で予約していただき、それについてコミュニティプラザで受取りをしていただく方法がある。

(委員) 今年度の「えほんとおそぼう」の日程が6月1日(金)に決定した。昨年同様、図書館スタッフにも来てもらう依頼をさせていただく。

(委員) 広域他市からの利用者の登録状況はどのような感じか。

(事務局) 具体的な数字が今はないが、近隣都市ではやはり吹田市の利用が一番多い。郷土資料については、他市のどこにも負けない様な資料を確保しており、それを利用しに来られる利用者がいる。

他市からの利用が一番多いのはマイカル茨木に併設している茨木市の穂積図書館である。ショッピングモールとの併設という利便性が利用者増加に影響を与えていることが伺える。

利用できる図書館が増える中で、あえて摂津市の図書館に来館してもらえそうな売りを作っていく必要がある。

2. 平成 30 年度摂津市民図書館・摂津市鳥飼図書センター事業計画（案）報告報告

(事務局) 平成 30 年度摂津市民図書館・摂津市鳥飼図書センター事業計画（案）について説明。

(委員) 7 月の平和映画会は、以前からこのような名称で実施していただろうか。定例の日曜日の映画会の中で、特別に平和に関係する映画を選定してそのように名づけているということだろうか。

(事務局) 人権女性政策課の方で、市内の各所で平和に関する取組みを行っており、図書館においては、映画会という形で図書館利用者の方に平和について考えていただく機会を提供するということで実施している。

(事務局) 行事の取組みとして、今まで来館されることのなかった方たちへのアプローチという点を心掛けている。今年度の 3 月に行う「大人の読書会」もその一つである。

(事務局・委員) 「読み聞かせ」という“画面ではなく音で入ってくる物語”についての意見交換

(委員) 年間事業計画に書かれている「中学生の職場体験」について、どのようなことをしているのか。

(事務局) 期間は概ね 2 日間で、今年度については実際に読み聞かせ会を実施してもらった。目の前で反応を見ることが出来るため、やりがいを感じてもらえた様子だった。他に、カウンター業務、本の修理、また、障害者サービスとして録音図書の貸出体験等を行った。

(委員) 2 日間というのは短すぎるのではないか。最低 1 週間は必要である。

(谷 田) この期間の子どもたちは目の色が変わっており、この体験の教育効果の大きさを感じている。日数設定の問題もあるが、子どもたちのために、この先も継続していただきたいと思っている。

自分の進路を決める時に、職場体験を活かして将来のビジョンを決めていくという取組みが増えてきているので、中学校でもどこまで体験の機会を増やしていけるかを検討していけたらいいのではないかと思う。

(事務局) 小学生のお仕事体験、中学生の職場体験、大学生の図書館実習などの受け入れをしているが、このように1人の成長の中で何度も職場体験ができる場として図書館を利用していただけるように、今後も準備を整えていきたい。

(委 員) 「おめでとう1年生～子ども読書会」の開催日程はきまっているのか。市内在住ではない子どもも参加してよいのか。

(事務局) 春休み期間を中心に毎年実施している企画である。新入学の子どもたちへのお祝いの思いと、教科書に取り上げられている本の紹介をする機会としている。

他市の方でももちろんご参加いただけるイベントである。ぜひ参加していただきたい。

《全体を通しての意見・質問》

(委 員) 図書館利用の利便性に関する点で、他市のように駅などに返却ポストを置くことはできないのだろうか。

(事務局) 返却ポストには利便性がある反面、汚損や異物投入などの問題もあり、進めることが難しい面もある。

(委員・事務局) 返却ポスト設置に関する意見交換

(委 員) 予約に関して、自分が何番目に予約してるのかはわかるようになっているのか。

(事務局) インターネットでの予約であれば、“何人待ち”という表示が出ているので参考にしてほしい。ただ、何番目という表記ではなく、複本の冊数などによって待ち人数は異なるので、スタッフに問い合わせていただいた方が確実である。

3.その他

(事務局) 要点録の送付、第4四半期評価のお願い、平成30年度第1回協議会日程調整の連絡、について説明。